

令和4年度ながさき農林業大賞受賞者の紹介

お問合せ先

農業振興普及課
0920-45-3038

「ながさき農林業大賞」は、地域の特色を生かした先進的な農林業を展開し、成果をあげている農林業者を表彰し、受賞者をたたえるとともにその功績を県民へ紹介することで、農林業・農村の活力ある発展及び消費者の農林業に対する理解を促進する機会とするものです。

長崎県知事賞 農事組合法人 石田東

トップファーマー農産部門において、水稻と大豆、大麦、露地野菜の複合経営である農事組合法人 石田東(小野秀孝代表理事)が、ながさき農林業大賞長崎県知事賞を受賞されました。

水稻「つや姫」および大豆は、特別栽培とIPM(総合的病害虫・雑草防除)による環境にやさしい農業を実践し、わらと堆肥の交換による土づくりなど資源循環に取り組んでいます。

県下で初めてFOEAS(地下水水位制御システム)を導入することで、大麦、大豆の収量が向上したほか、露地野菜にも取り組むなど、高収益経営を実践しています。また、近隣法人にもFOEASが導入されるなどモデル圃場として地域への波及効果も高い点などが評価されました。



【(農)石田東の構成員の皆様】



【FOEAS圃場で栽培される焼酎用大麦】

運営委員会長賞 松本則雄・栄子氏

しまの農林業経営部門において、葉たばこと水稻、繁殖牛の複合経営である松本則雄氏、栄子氏ご夫妻(石田町)が、ながさき農林業大賞運営委員会長賞を受賞されました。

葉たばこでは、適切な排水対策の徹底や輪作による土壌病害対策、優良堆肥の活用、適期を見極める観察など、技術にこだわった栽培を実施することで県内でもトップクラスのA品率を達成しています。また、則雄氏は葉たばこ耕作組合の地域の総代を歴任し、葉たばこ農家として他の生産者の栽培の模範となるなど、地域農業振興への貢献が評価されました。



【葉たばこ収穫作業】



【松本夫妻】